

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那谷獅子舞のホームページ作成と第1回南信州獅子舞フェスティバル開催
事業主体 (連絡先)	南信州獅子舞フェスティバル実行委員会 事務局 近藤竜弥 TEL0265-22-0156 fax0265-22-1561 e-mail: ktatsuya@janis.or.jp
事業区分	文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,911,000円 (うち支援金: 830,000円)

1911,950 → さけえ依頼

事業内容

- ① 伊那谷獅子舞のホームページ作成
現在、伊那谷の獅子舞51団体を網羅した「南信州の獅子舞」、第1回南信州獅子舞フェスティバルを伝える「第1回南信州獅子舞フェスティバル」のホームページを立ち上げた。
- ② 第1回南信州獅子舞フェスティバルを平成20年10月26日、飯田市鼎さわやかロードを歩行者天国にして、22獅子舞参加のもと実施。大盛会であった。



【フェスティバル当日の様子】

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

- ① ホームページへのアクセスも多く南信州の特徴ある「屋台獅子」のPRに大いに役立っている。しかも県外からのアクセスが多く都市部との交流にも役立っている。
- ② 第1回南信州獅子舞フェスティバルには7,000人の観衆が押しかけ、正直主催者としてびっくりすると同時に、獅子舞の持つ力を感じた。中京圏、関東圏からの観覧者も多く、都市部との交流にも十分応えられる事業であることを実感した。メディア評価大。

【目標・ねらい】

- 獅子と言う文化財の伝承
- 地域と都市の交流
- 若者の定着 (子供から若者)
- 獅子を題材の地場産品開発

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

今後の取り組み

ホームページは更に充実を図り、更新も怠り無く新しい情報を発信し続ける。南信州獅子舞フェスティバルは、第1回を開催し内外の反響が実に良く、第1回にして嬉しいことに市民権を得たという感じである。今後は官民にわたる協力を求め、更にグレードアップしたイベントにし永久に継続できる南信州を代表する秋の一大イベントに育てるつもりである。

既に2010年には、全日本郷土芸能協会主催の「第13回全国獅子舞フェスティバル・飯田市」が決定していて、2009年にはその準備にも入り成功を期す。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。